

# 経営比較分析表（令和3年度決算）

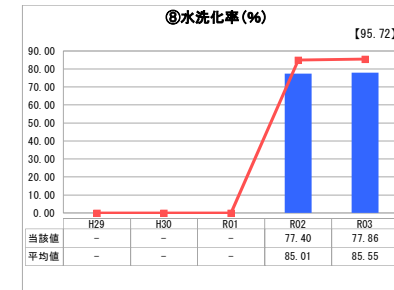
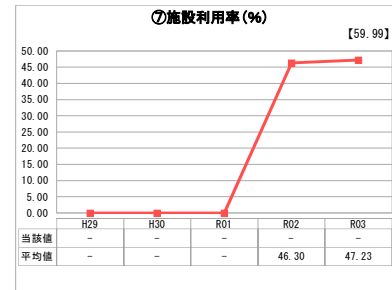
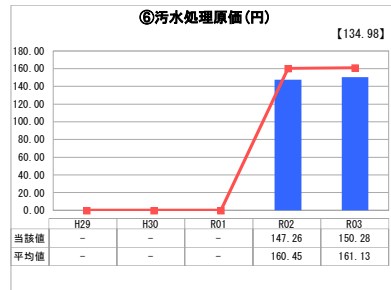
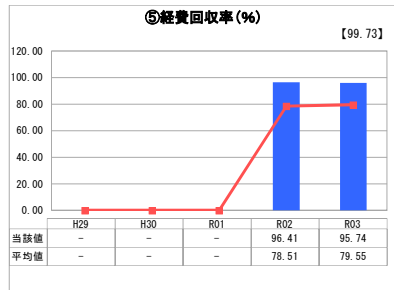
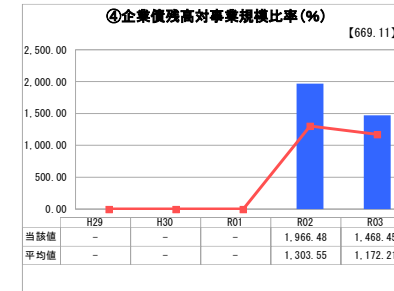
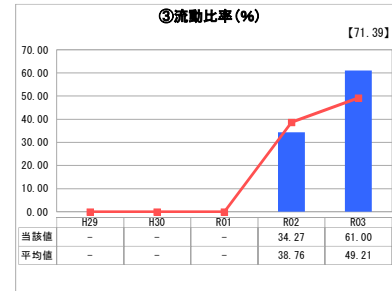
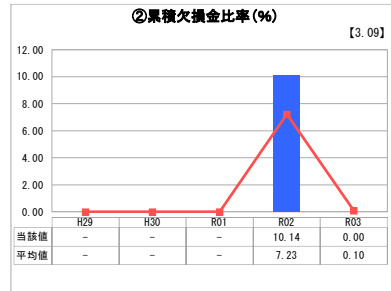
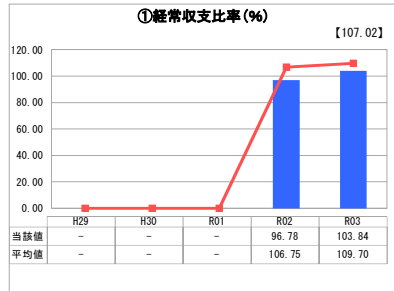
神奈川県 大磯町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cb2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	50.74	83.39	89.21	2,687

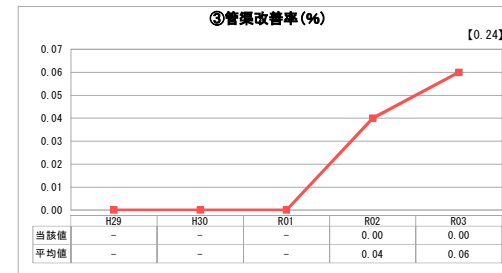
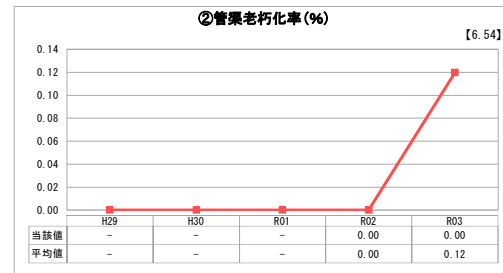
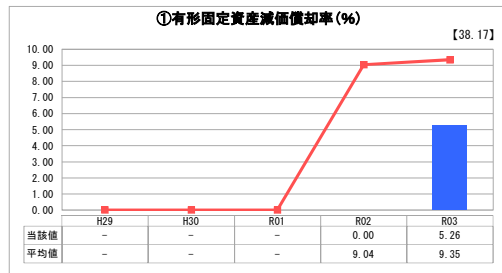
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
32,464	17.18	1,889.64
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
27,014	4.77	5,663.31

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和3年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

令和2年4月1日に公営企業会計を適用し、経営指標は前年度との比較を表示しています。経常収支比率は100%以上となっていますが、類似団体平均値及び全国平均値を下回っている状況となっています。また、経費回収率は95.74%と類似団体平均値より高いものの、全国平均値より低くなっています。そのため、更なる収益の確保と適正な経費削減を図る必要があります。

収益の主となる下水道使用料については、平成31年4月に使用料を改定していますが、約4年経過していることから、今後、社会情勢等を考慮しながら慎重に進めていく予定です。同時に、下水道未接続世帯に対する戸別訪問の範囲を拡大し、接続促進活動を強化するといった増収に繋げるための取組みを継続していきます。

### 2. 老朽化の状況について

本町の公共下水道事業は、平成元年度に相模川流域下水道計画の流域関連下水道として全体計画を策定し、平成2年度より工事着手しています。主な構造物は管渠及びマンホールとなっていますので、法定耐用年数50年を迎える構造物を有していません。そのため、直ちに老朽化対策が危惧される状況ではありませんが、平成30年度に策定した事業計画に基づき、主要な管渠における点検等を実施し、老朽化対策に繋げていきます。

### 全体総括

令和2年4月1日から公営企業会計を適用したことに伴い、経営成績や財政状態を的確に把握できるように努めています。

また、未普及対策については、汚水処理施設整備の概成を令和7年度末に目指しています。これらを考慮した経営戦略を令和2年度に策定し、進行管理を図りながら、令和7年度を目途に収支に関する見直しを行う予定としています。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。